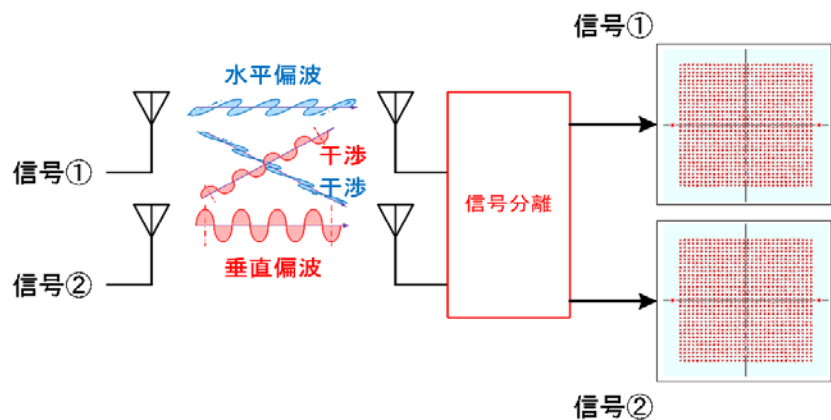


スーパーハイビジョンの公開実験
および
被災地におけるエリア限定ワンセグの活用実験

平成22年9月10日
日本放送協会

実験概要

スーパーハイビジョンの公開実験



- ・地上波による大容量伝送実験の実施
- ・パブリックビューイング等によるスーパーハイビジョン公開実験実施

エリア限定ワンセグの活用実験



- ・きめ細かな安心・安全情報をエリア限定に提供
- ・既存のワンセグ端末で受信するとともに、ワンセグの連結送信も視野に入れた高度化を考慮
- ・災害エリアごとに、異なる周波数の確保が必要

実験スケジュール

項目	2010年	2011年	2012年	2015,2020年 (中、長期的展望)
スーパーハイビジョンの実験	<ul style="list-style-type: none"> ・地上波1チャンネル(6MHz)を使って60Mbpsの情報を送送 	<ul style="list-style-type: none"> ・地上波2チャンネル(12MHz)を使った120Mbpsの情報伝送 	<ul style="list-style-type: none"> ・地上波2チャンネル(12MHz)を使ったスーパーハイビジョン伝送 	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年 地上伝送暫定方式策定 ・2020年 地上伝送方式規格化
エリアワンセグ実験	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアワンセグ基礎実験(伝播、干渉等) ・災害時のエリアワンセグシステム基本設計 情報収集システム等基本設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集システム等の基本検討 ・エリアワンセグへの適用検討、実験検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集システム動作試験および送信実験 	実験結果を検証し実用化を目指す



基礎検討期間

- ・ 技術仕様の検討
- ・ 干渉検討 等

本格実験期間

- ・ 公開実験
- ・ 効果検証 等